

## 江南市廃棄物減量等推進協議会 平成 28 年度第 1 回会議 会議録(概要)

●日時 平成 28 年 5 月 24 日 (火) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 10 分

●場所 江南市役所 3 階 第 3 委員会室

●出席委員(16 名)

会 長 岩 井 喜 美 子	副会長 前 田 幸 男
委 員 石 原 豊 基	委 員 佐 橋 隆 博
委 員 坪 内 三	委 員 岩 田 英 次
委 員 尾 関 豊	委 員 阿 部 枝 美 子
委 員 栗 本 和 憲	委 員 滝 甚 吉
委 員 望 月 晴 夫	委 員 苅 谷 有 朗
委 員 藤 田 泰 雄	委 員 堀 場 敏 之
委 員 政 木 幸 吉	委 員 黒 岩 弘 子

●欠席委員(14 名)

委 員 金 森 稔	委 員 青 山 和 子
委 員 川 崎 晴 功	委 員 梶 村 徹 師
委 員 伊 神 泰 文	委 員 千 葉 菊 雄
委 員 楓 健 年	委 員 水 野 祐 助
委 員 桂 田 伸 二	委 員 古 田 一 二 三
委 員 立 石 一 郎	委 員 松 井 淳 司
委 員 武 馬 健 之	委 員 長 岡 吉 男

●事務局

環 境 課 長 石 川 晶 崇  
環 境 課 副 主 幹 青 山 守  
環 境 課 主 任 長 崎 紘 樹

●会議経過

■あいさつ等

○環境課長

本日は、江南市廃棄物減量等推進協議会第 1 回会議を開催しましたところ  
大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

まだお揃いではございませんが、定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。

○環境課長

<課長あいさつ>

○環境課長

この協議会の委員の任期につきましては、2年任期となっておりますが、役員等による任期満了などで異動のありました方におきましては、残任期間を委員として委嘱させていただきます。

新たに委嘱させていただきました皆様を事務局から紹介させていただきます。

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| ・江南市校長会・布袋中学校校長 | 金森 稔 様  |
| ・江南市PTA連合会会長    | 佐橋 隆博 様 |
| ・江南市老人クラブ連合会会長  | 坪内 三 様  |
| ・平成五明会会長        | 岩田 英次 様 |
| ・古知野区長          | 梶村 徹師 様 |
| ・布袋区長           | 伊神 泰文 様 |
| ・宮田地区の代表区・南野区長  | 栗本 和憲 様 |
| ・草井地区の代表区・小脇区長  | 千葉 菊雄 様 |
| ・江南丹羽環境管理組合事務局長 | 武馬 健之 様 |

以上でございます。

委嘱状は、席上に配布させていただいておりますので、ご確認をお願いします。

○環境課長

次に、事務局も、4月1日に人事異動がありましたので、自己紹介をさせていただきます。

<事務局自己紹介>

○環境課長

それでは、これからの議事進行につきましては、本協議会設置要綱第7条の規定により、会長であります岩井さんをお願いしたいと存じます。よろしくをお願いします。

○会長

<会長あいさつ>

■議題①平成 28 年度事業計画（案）について

○会長

それでは、議題に入らせていただきます。

議題①の平成 28 年度事業計画（案）について事務局より説明をお願いします。

○事務局

資料 1 ページをご覧ください。平成 28 年度事業計画（案）について説明させていただきます。今年度は、会議を 3 回開催する予定です。第 1 回会議は本日開催ですが、第 2 回は 9 月下旬、第 3 回は来年 2 月中旬に開催予定です。

環境フェスタ江南 2016 は 11 月 20 日（日）に実施予定です。今年度も昨年度同様、消費生活展と同時開催で 1 日の開催となります。

11 月下旬ごろにはごみ処理施設の視察を実施する予定です。特別委員会につきましては、必要に応じて開催する予定です。

○会長

平成 28 年度事業計画（案）について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

質問等がございませんので、次の議題に移らせていただきます。

■議題②平成 28 年度予算概要について

○会長

議題②平成 28 年度予算概要について事務局より説明をお願いします。

○事務局

配布させていただきました資料の 2 ページと 3 ページの「平成 28 年度予算書抜粋」に基づいて説明させていただきます。ごみ減量に関する市の歳出予算について記載されております。

「ごみ減量対策・ごみ減量作戦 57 運動事業」と「廃棄物減量等推進関連事業」の 2 つの事業に分かれておりますが、それぞれの合計額は「ごみ減量対策・ご

み減量作戦 57 運動事業」が 1,800,000 円、「廃棄物減量等推進関連事業」が 590,000 円となっています。

「ごみ減量対策・ごみ減量作戦 57 運動事業」は、5 つの事業に分かれておりまして、「ごみ減量対策・ごみ減量作戦 57 運動事業」が 422,000 円、「環境フェスタ江南開催事業」が 1,300,000 円、「ボランティア分別指導員養成講座開設事業」が 68,000 円、「生ごみ処理機器設置費補助事業」が 1,877,000 円、「資源ごみ回収関係助成事業」が 14,333,000 円となっております。

次に、「廃棄物減量等推進関連事業」ですが、「廃棄物減量等推進協議会開催事業」と「廃棄物減量等推進員委嘱事業」の 2 つの事業に分かれております。

「廃棄物減量等推進協議会開催事業」が 588,000 円、「廃棄物減量等推進員委嘱事業」が 2,000 円となっております。

○会長

平成 28 年度予算概要について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

質問等がございませんので、次の議題に移らせていただきます。

#### ■議題③特別委員会委員選出について

○会長

議題③江南市廃棄物減量等推進協議会特別委員会の委員の選出です。

○会長

委員長からご指名をいただきたいと思いますが、今日欠席されてますので、楓委員長から伺っている委員を発表します。

前田幸男委員、尾関豊委員、阿部枝美子委員、望月晴夫委員、長岡吉男委員、苅谷有朗委員、藤田泰雄委員、政木幸吉委員、そして私岩井喜美子の 10 名とさせていただきます。よろしくをお願いします。

#### ■議題④環境フェスタ江南実行委員選出について

○会長

議題④の環境フェスタ江南実行委員の選出についてですが、この協議会の委員全員に環境フェスタ江南実行委員会の委員に就任していただき、環境フ

エスタ江南に全面的に協力をいただきますのでよろしくお願いいたします。

実行委員会を進める上で、細部の企画・運営等の調整を図る必要があるため、実行委員会の役員として数名を私から指名させていただきます。

前田幸男委員、尾関豊委員、川崎晴功委員、相村徹師委員、伊神泰文委員、栗本和憲委員、千葉菊雄委員、立石一郎委員、堀場敏之委員、政木幸吉委員、黒岩弘子委員、私、岩井喜美子の12名とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

#### ■議題⑤その他

##### ○会長

議題⑤のその他について事務局より説明をお願いします。

#### ■平成27年度ごみ減量「57運動」実施事業報告について

##### ○事務局

6ページをご覧ください。平成27年度「57運動」実施事業について報告させていただきます。

まず、説明会等開催事業として、地区説明会と児童・生徒への環境教育の2つの事業を実施しました。地区説明会を3回、児童・生徒への環境教育として、中学生の訪問学習への対応を1回と親子リサイクル教室を8月に2日間実施しました。

次に、施設見学会開催事業ですが、各地区、団体、学校等を対象に合計24回実施し、参加者は合計1,110名でした。区長・町総代対象の施設見学を2回、地区住民対象の施設見学を5回、各種団体の施設見学を6回、小学校4年生対象の施設見学を11回実施しました。

次に、6ページから7ページにかけて掲載している啓発事業ですが、啓発物資の配布、広報による啓発、文書による啓発、放送による啓発等を実施しました。主な内容として、市内のスーパーマーケット4店舗での啓発物資の配布、環境美化センターへのごみ搬入量の広報掲載等を実施しました。

次に、生ごみ処理機器及びボカシの普及事業ですが、生ごみ処理機器の購入に対し、補助金を交付しました。内訳は、密封発酵容器が38基、コンポストが39基、家庭用生ごみ処理機が20基でした。

次に、買い物袋持参推進事業として、買い物袋利用の実態把握に取り組みました。7月から9月までの期間でレジ袋削減有料化協力店の買い物袋持参率は平均89.7%でした。

次に、リサイクルバンク事業として、「ゆずります」利用件数97件、成立件数51件、「もとめます」利用件数54件、成立件数18件でした。

次に、事業系ごみ対策事業として、商工会議所ニュース2月号への啓発チラシの折り込み、一般廃棄物の再利用及び減量計画書の提出要請、事業所訪問調査を実施しました。

次に8ページをご覧ください。市民参画事業として、ボランティア分別指導員養成講座の開催、江南おもちゃ病院スマイル及び江南生活環境を良くする会との協力、環境フェスタ江南2015を実施しました。ボランティア分別指導員養成講座は2回実施し、合計38名の参加がありました。江南おもちゃ病院スマイルは4回実施しました。江南生活環境を良くする会はボカシ肥作成を延べ22日に渡って実施しました。環境フェスタ江南2015につきましては、11月15日に実施しまして、約6,000人の参加がありました。

次に、廃棄物減量等推進員委嘱事業ですが、区長・町総代を始めとして合計247名に委嘱しました。

## ■・平成27年度江南丹羽環境管理組合ごみ搬入量について

### ○事務局

平成27年度江南丹羽環境管理組合ごみ搬入量についてご説明申し上げます。

資料9ページから12ページにかけて、江南市、大口町、扶桑町の平成27年度のごみ搬入量の詳細なデータが記載されています。表の見方について簡単に説明させていただきます。各ページ表が3段に分かれています。1段目の「市町収集」という部分は家庭系ごみの量が掲載されています。2段目の「直接搬入」の部分は事業系可燃ごみと直接搬入の剪定枝・草の量、3段目の「市町収集・直接搬入の合計」の部分は1段目と2段目の合計が掲載されています。

また、各表には、平成27年度と平成26年度の搬入量が掲載され、比較できるようにになっています。

次に、13 ページをご覧ください。江南市の過去 5 年間の家庭系可燃ごみ収集量について、各月ごとの量を比較した表とグラフを掲載しております。家庭から出る可燃ごみの収集量は減少する傾向にあります。こちらの表については、後程各自でご確認いただきたいと思ひます。

次に、家庭系可燃ごみについて簡単にまとめたものを 14 ページに掲載しておりますので簡単に説明させていただきたいと思ひます。

14 ページの表には、江南市、大口町、扶桑町の住民 1 人 1 日当たりの家庭系可燃ごみ排出量が掲載されております。江南市の住民 1 人 1 日当たりの家庭系可燃ごみ排出量は 398 グラムです。平成 24 年 6 月から剪定枝・草の分別収集を開始してから、可燃ごみの量が減少しております。江南市、大口町、扶桑町の 1 市 2 町では、大口町が最も住民 1 人 1 日当たりの家庭系可燃ごみの排出量が少なくなっています。

#### ■ ・平成 27 年度江南市レジ袋削減推進委員会収支報告について

##### ○事務局

15 ページをご覧ください。江南市レジ袋削減推進委員会の平成 27 年度収入支出報告についてご説明申し上げます。

まず、収入の部ですが、前年度繰越金が 364,722 円、レジ袋有料化収益寄付金として株式会社平和堂様から 85,000 円、株式会社ヤマナカ様から 33,655 円、利息が 63 円で合計 483,440 円でした。

次に支出の部ですが、環境フェスタ江南への寄付金として 133,000 円でした。

収入支出の差引残額は 350,440 円となりました。

次に、平成 27 年度に受領した寄付品の紹介をさせていただきます。ユニー株式会社様から種子、プランター、培地 146 セット及び堆肥 200 セットの寄付をいただきました。

#### ■ ・平成 28 年度江南市一般廃棄物処理実施計画について

##### ○事務局

16 ページをご覧ください。平成 28 年度江南市一般廃棄物処理実施計画につ

いて説明申し上げます。

この実施計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 6 条第 1 項及び江南市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第 9 条第 1 項の規定により、計画を定め、告示することになっております。

16 ページをご覧ください。平成 28 年度江南市一般廃棄物処理実施計画について簡単に説明します。

中段にあります、「2 一般廃棄物の処理主体」です。

「可燃ごみ」は、市、委託業者及び許可業者が収集し、環境美化センターにおいて処分を行う。

「資源ごみ」は、委託業者が収集し、委託業者において処分を行う。

「埋立ごみ」は、委託業者が収集し、江南市一般廃棄物最終処分場において処分を行う。

「粗大可燃ごみ」は、電話申し込みによる、有料戸別収集方式により、委託業者が収集し、江南丹羽環境管理組合が処分を行う。

「中型可燃ごみ」は、委託業者が収集し、江南丹羽環境管理組合が処分を行う。

「粗大不燃ごみ」は、電話申し込みによる、有料戸別収集方式により、委託業者が収集し、委託業者において処分を行う。

「在宅医療廃棄物」は、委託業者が収集し、委託業者において処分を行う。

「特定家庭用機器廃棄物」は、許可業者が収集し、又は排出者が直接、指定引取場所へ搬入する。

次に、「3 処理計画」をご覧ください。

可燃ごみについては、生ごみの減量化のためボカシや生ごみ処理機器の普及に努めるとともに、家庭、区・町内会、公共施設等から排出される剪定枝・草等のリサイクル処理を推進することにより、減量化を図る。またプラスチック製容器包装類と雑がみの分別の周知徹底と再資源化に努めます。

可燃ごみの約半分は紙類です。この紙の中には、リサイクルできるごみも沢山混ざっています。可燃ごみの減量を進めるにごみあつては、紙類の分別の徹底が必要だと考えております。また、可燃ごみの 4 分の 1 は生ごみでその主成分は水分となりますので、水切りをお願いしているところです。



次に、20 ページの「4 中間処理」をご覧ください。

ごみ処理施設 環境美化センター（大口町）

し尿及び浄化槽汚泥処理施設 愛北クリーンセンター（岩倉市）

次に、21 ページ「5 最終処分場」をご覧ください。

小杵町にある一般廃棄物最終処理場で埋立処理をしております。ここへ持ち込まれた埋め立てごみは、全て手作業で異物を取り除く作業をしております。

次に、「6 その他」をご覧ください。

- ・ 市民、事業者及び行政の協働により、ごみ減量「5 7 運動」を展開し、ごみの減量に努める。その手段として、広報・ホームページを活用するとともに、環境フェスタ、説明会、施設見学会等を開催し啓発活動に努める。
- ・ ごみ減量と地球温暖化防止に向けて、レジ袋削減・有料化を目的とした「レジ袋削減運動」を引き続き実施する。
- ・ 市民参加による適正な分別とリサイクルの推進のため、ボランティア分別指導員養成講座を引き続き開設する。
- ・ 可燃ごみの減量を目的として、生ごみ処理機器、コンポスト及び密封発酵容器の購入に対し助成する。
- ・ 子ども会、PTA等が行う資源回収に対して助成を行い、団体の育成を図るとともに、資源化を促進する。
- ・ 公共用水域の水質汚濁防止のため、浄化槽の適正な維持管理（保守点検、清掃及び法定検査）の実施を啓発するとともに、廃食用油の回収を行い、BDF へのリサイクルを引き続き推進する。
- ・ クリーン運動を実施し、道路、公園等公共の場所での空き缶等の散乱防止に努めるとともに、環境美化に対する市民意識の高揚を図る。
- ・ 資源ごみの持ち去り行為によるごみの散乱や資源ごみ売り払い収入の減少を防止するため、パトロールを強化する。持ち去り現場を目撃されても決して捕まえようとせず、市へ情報提供をお願いします。
- ・ 中型ごみ（電化製品等）の処理方法を改善し、小型家電に含まれる希少金属（レアメタル）の有効利用を図る。
- ・ 事業所向けのごみに関する手引書を作成し、事業系一般廃棄物の適正な分

別と減量に関する情報提供に努める。

- ・食品関連事業者への訪問啓発等を行い、食品廃棄物の飼肥料化と食品ロスの削減の取り組みを促進する。食品リサイクルによる資源の有効利用により、相手側も飼料自給率の向上が図られる。

#### ○事務局

本日の会議終了後に実施するごみ減量啓発キャンペーンについてご説明申し上げます。資料 23 ページをご覧くださいと思います。

午後 4 時 00 分から 4 時 45 分の時間帯で市内の 4 つのスーパーマーケット、アピタ江南西店、平和堂江南店、バロー江南店及びピアゴ布袋店に別れて、ごみ減量啓発キャンペーンとしてポケットティッシュを配布していただきたいと思います。

場所につきましては、表のとおり振り分けさせていただきましたので各自で移動していただき、それぞれのスーパーのサービスカウンターで集合ということにいたします。よろしくお願いいたします。

#### ○会長

その他で 5 つ事務局から報告がありましたが、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いします。

#### ○委員

21 ページの「江南市一般廃棄物処理実施計画」の中の最終処分計画がありますが、この最終処分場はあとどれくらいの量の埋立が可能か。またどれくらいの年数もつのか。

#### ○環境課長

埋立量については、現在資料を持っていないため正確な数字は分かりませんが、平成 27 年度の時に推計したのが、あと 12 年、平成 40 年までは埋立が可能です。

#### ○委員

「57 運動」実施事業報告のなかで、ボランティア分別指導員養成講座の実績が前期が 32 名に対し、後期が 6 名と少ない状況です。広報だけに頼らず周知の方法を考えるべきであり、市の努力不足だと思います。

#### ○事務局

後期についても沢山の方が受講できるように考えていきたい。

○委員

今年度、環境フェスティバルは間違いなく開催されるのか。

○事務局

開催します。事業計画（案）や予算概要でお示ししたとおりです。

○委員

平成 28 年度事業計画（案）で特別委員会が議題未定で随時開催となっておりますが、審議する議題がないのに計画にあげるのはおかしい。次回の協議会までには議題を作ってほしい。

○事務局

楓委員長と相談のうえ議題も決めていきたい。

○委員

平成 27 年度江南丹羽環境管理組合へのごみの搬入量で家庭系可燃ごみの量が平成 26 年度と比べ微増であるが、市として対策を講じるのか教えてほしい。

○事務局

市としては、分別の啓発に努める。（分別の細分化はこれ以上無理であるため）

○会長

その他にあればご発言をお願いします。ないようですので、これから、各スーパーマーケットでごみ減量の啓発を実施したいと思います。

長時間にわたりご審議をいただき、ありがとうございました。

— 以上 —